

2022年5月31日

## 要旨集および研究発表登録システムでの所属の記載方法について

### 1 法人格を持つ組織の称号

#### 1-1 原則

##### 1) 団体の法人格の種類は記載しない

国立大学法人、国立研究開発法人、一般財団法人、公益財団法人、一般社団法人、公益財団法人、医療法人 等

例：日本気象協会、鉄道総合技術研究所

##### 2) 民間の法人格の種類は記載する。ただし、略称（(株)等）は使わない。

例：株式会社雪研スノーイーターズ

#### 1-2 例外

特定非営利活動法人（NPO 法人）は、「NPO 法人」と記載して良い。

例：NPO 法人雪氷ネットワーク

### 2. 所属名

#### 2-1 原則：

##### 1) 略称は使わない

例：北大× 北海道大学とする

##### 2) 全体組織名「△△大学」、「△△研究機構」等とする。ただし、「〇〇大学機構」は記載しない。

例：北見工業大学、北海道立総合研究機構、産業技術総合研究所、△△市

#### 2-2 例外：

##### 1) △△研究機構より、下層の組織名が良く知られている以下の組織は、研究所名のみの記載として良い。

国立極地研究所、森林総合研究所

##### 2) 正式名称より、略称が広く知られている場合は、略称を記載して良い。

例：農研機構、JR 東日本、NTT 東日本など

##### 3) 独立機関（所在地が別）となっている場合は下層部局を記載しても良い。但し 2 階層までとする。

例：北海道教育大学札幌校、防災科学技術研究所雪氷防災研究センター、  
防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄雪氷環境実験所は×

4) 総合大学は学部名または研究院等を記載しても良い。但し2階層までとし、それ以下の区分(学科等)は記載しない。

例： 北海道大学工学部、北海道大学低温科学研究所

5) 名誉教授

「△△大学名誉教授」とし、所属に“名誉教授”を含める。このケースを除き、肩書は所属に含めない。

### 2-3 特殊な場合

1) 就職した学生が著者の場合

研究当時の所属を記載する。

2) 退職した後、特定の組織に所属していない場合

在職時の研究を発表する場合は在職中の組織名を記載する。それ以外は「無所属」とする。